

専修大学

# 図書館だより

第69号 2009. 10

## 専修大学図書館特別展 「二つのモダン -江戸文化とフランス革命-」 特集号

CONTENTS

向井家江戸期和本コレクションについて (板坂 則子) .....	2~3
特別展紹介 専修大学図書館特別展 二つのモダン -江戸文化とフランス革命- .....	4~7
図書館インフォメーション .....	8



しらぬいものがたり  
『白縫譚』  
合巻。柳下亭種員、二代柳亭種彦 (笠亭仙果)、柳水亭種清作。  
三代歌川豊国 (国貞)、二代歌川国貞、歌川芳幾画。  
嘉永2年(1849)~明治18年(1885)刊。

# 向井家江戸期和本コレクションについて

この度、図書館では江戸時代後期小説（戯作）のコレクション（向井家江戸期和本コレクション）が新しく収蔵されることになりました。作品数ではほぼ4,000作に上る膨大なコレクションです。ここでは、コレクションの内容とこれらを収集された故向井信夫氏について、板坂則子文学部教授から紹介していただきます。



板坂 則子

向井家の和本コレクションは故向井信夫氏が集められた約4,000作の戯作（江戸期後期小説）を中心とした文庫で、その膨大な収分量のみならず、初板本や稀覯本を多く含む質の高さは江戸期文芸の研究者間で広く知られるところである。戯作は江戸中心に栄えた都



故 向井信夫 先生

市文芸で、出版文化メディアの中で育まれた商品としての特性を強く持っている。広く大衆に愛された書物であり、現代日本の本屋の店頭には並ぶさまざまなジャンルのかなりの部分が、既に戯作の中に備わっている。たとえば本格小説としての教養小説や歴史大河小説、長編ファンタジー等の醍醐味を味わえる読本、男女の恋愛に於ける鋭敏な感覚を探る洒落本、卑近な笑いを描く滑稽本や咄本、教

訓を甘口に論ず談義本、少女向けの感傷的な恋愛を描く人情本、そして本文と挿絵が共存する草双紙（赤本、青本・黒本、黄表紙、合巻と年代によって装幀が変わり、呼称もそれに応じて変化していく）などなど…。向井家江戸期和本コレクションには、この他、漢詩文や狂詩・狂文、考証随筆、吉原関係、歌舞伎関係、絵本など、多くの江戸を彩る書物が溢れているが、何といたってもその中心は草双紙と読本に置かれている。500作近い読本は、98巻106冊の『南総里見八犬伝』（曲亭馬琴作）を筆頭に、山東京伝や六樹園飯盛（石川雅望）、高井蘭山、振鷲亭、福内鬼外など、江戸読本の代表作はほぼ揃っているといえる



向井家の書齋（読本）

のではないだろうか。また圧巻は草双紙で、その数は2,500作以上に上ろうか。特に文化4年（1807）以降の合巻は、美しい錦絵摺付表紙と目が痛くなるような細かい彫りの物語部分から成り、巧緻を極めた江戸期和本の美しさを見せている。38編160巻の『修紫田舎源氏』（柳亭種彦作）を始め、これも曲亭馬琴や山東京伝、京山、十返舎一九や式亭三馬など、きら星のごとくに江戸を代表する戯作者たちの話題作が並んでいる。



向井家の書齋（人情本他）

これらを集められた向井信夫氏の書齋は、四方の壁に天井まで届く作り付けの書棚が並び、そこに和本を中心とした書物が二重から四重に置かれ、部屋の中にいると息苦しくなるほどの迫力であった。先生はこのコレクションを隅々まで見事に管理なさり、何を伺ってもすぐに、その答を示す目的の書物を差し出して下さったものである。江戸戯作のコレクションとして有数の文庫を有し、それらに関する膨大な知識をお持ちであったが、向井先生は研究者ではあられず、教科書の流通に関わる会社の重鎮として過ごされた。書物を深く愛され、その和本蒐集は大戦時に北京で万葉集を集められたことに始まると聞かすが、終戦によってそれらを「個人の持ち物とは思われない膨大さ」として没収され、戦後、東京に戻られてからは一貫して戯作類を集めら

れた。先生は戯作の中の日眩く世界と同時に、和本に込められた手仕事の精緻さに惹かれておられたのではないだろうか。たとえばある作品を求められても、それが後摺本であるならば（通常のことなのであるが…）、初板本を求めて更に購入を重ねられた。長編合巻の場合など、数部が所蔵されていることも多く、これが向井コレクションの大きな特徴となっている。良本を求める心は切であられたが、和本の所蔵そのものには恬淡としておられ、どのように得難い書であっても研究上必要とする人には貸し出され、その知識を惜しみなく与えて下さったものである。先生は平成5年に病没された。享年76歳。平生、ダンディでいつも蝶ネクタイのスーツ姿、胸にはポケットチーフを入れて帽子を被られ、ホルダーを付けた煙草を愛用され、ポケットに片手を入れて階段を二段ずつ早足で上られておられた元気な先生の、誰もが予期しない突然の御逝去であった。

先生は我が恩師である。

その先生の何よりも丹誠された御蔵書が、このたび専修大学に移譲された。書物が広く活用されることを望まれた先生のご意志が、新しい場を得て受け継がれていくことを心から願っている。

（いたさか のりこ：文学部教授）



向井家の書齋（草双紙）

和本は平成18年より3年を掛けて大竹寿子氏（元 東京大学附属図書館員）により整理された。



専修大学図書館特別展

## 二つのモダン —江戸文化とフランス革命—

会場 東京芸術劇場 展示ギャラリー (5F) 池袋駅西口 徒歩3分  
 会期 2009年11月17日(火)～11月22日(日)  
 時間 10:00～20:00 (最終日は17:00まで)  
 主催 専修大学図書館  
 協賛 紀伊國屋書店 ジュンク堂書店

専修大学創立130年を記念し、本学図書館の所蔵する江戸期戯作コレクションとフランス革命期史料コレクションから精選し、池袋の東京芸術劇場において特別展を開催します。18世紀後半から19世紀にかけてヨーロッパと江戸の二つのモダンが醸すエッセンスの協奏がお楽しみいただけます。

ホームページ特設サイト

<http://www.two-modern.com>

ホームページ特設サイトでも特別展の見どころや、主な展示資料の解説、ご来場特典などを紹介しています。記念講演会へも専用ページから申し込むことができます。

### 江戸文化 見どころと主な展示品

#### 向井家江戸期和本コレクション

江戸文化のエッセンスとして、今回展示する資料は故向井信夫氏(1916-1993)が集められた戯作(江戸時代後期小説)を中心とするコレクション(向井家江戸期和本コレクション)から選んだものです。同コレクションは、本号2-3頁で板坂先生が紹介されているように初板本や稀頼本を多く含むその質の高さと、膨大な量において、江戸文芸の研究者間で広く知られていましたが、本年度、縁あって専修大学図書館の所蔵となりました。図書館では今後もこのコレクションを研究者に活用していただくことを約し、今回特別展でご紹介するはこびとなりました。



『南総里見八犬伝』

読本。曲亭馬琴作。

柳川重信、溪斎英泉、二代目柳川重信、歌川貞秀画。



にせむらさきいなかげんじ  
『脩紫田舎源氏』

合巻。柳亭種彦作。歌川国貞画。

作品数ではほぼ4,000作に上る膨大なコレクションから、曲亭馬琴の読本『南総里見八犬伝』を中心に据え、その草双紙化作品や二代国貞による浮世絵「八犬伝犬の草紙」全作を展示します。

読本では曲亭馬琴と山東京伝の二大戯作者に焦点を当てて展示します。

草双紙からは柳亭種彦の『脩紫田舎源氏』、豊国（三代）の「草紙合高評双六」に載る幕末期の長編合巻から、趣向をこらした表紙や挿絵などをお見せします。

さらに、浮世絵では、二代国貞作品をはじめ、月岡（大蘇）芳年のものなど約90点を厳選してお見せします。



ほうりゅうかくりょうゆうごく  
『芳流閣両雄動』

大判錦絵縦二枚続。  
慶需芳年画。

## 《用語解説》

### 戯作

近世小説の一群をさしている用語。近世では「けさく」、ときに「きさく」と読み、幕末に入って「げさく」の読みがしだいに多く、今日の読みとなった。元来は、戯れにつくこと、またその作品の意味で、和漢古今に共通した一般語であるが、近世後期に入って、知識人が余技の小説、浄瑠璃（じょうり）をいう際にしきりに使用し、やがて当時新しく発生した様式の小説の総称となった。様式では、洒落本（しゃれぼん）、滑稽本（こっけいほん）、黄表紙（きびょうし）、合巻（ごうかん）、読本（よみほん）、人情本を含み、狭義では前三者の滑稽文学をさすこともある。

（ジャパナレッジ「日本大百科全書」より）

### 読本

絵を主とした草双紙に対して、読むことを主体とした本の意。寛延・宝暦（1748～1764）のころに上方に始まり、文化・文政期（1804～1830）に江戸を中心に流行。空想的、伝奇的な要素が強く、因果応報・勸善懲悪の思想などを内容とする。和漢混交・雅俗折衷の文体で書かれ、体裁は半紙本が多い。上方中心の前期は上田秋成・建部綾足ら、江戸中心の後期は山東京伝・曲亭馬琴らが代表的作者で、「雨月物語」「南総里見八犬伝」などが著名。

（ジャパナレッジ「デジタル大辞泉」より）

### 草双紙

江戸特有の挿絵入り仮名書き小説で、寛文末年（17世紀後半）ごろに刊行され始めた幼童向けの絵本である赤本を初めとして、黒本、青本、黄表紙、合巻という順序で展開し、明治10年代まで出版され続けた絵双紙の総称。江戸時代のもっとも通俗的な小説の一つで、「草」は似て非なるもの、本格的でないものというほどの意を表す卑称である。判型の多くは中本型（四六判。縦約18cm、横13cm）で、1冊5丁（10頁）よりなり、1～3冊からなるが、合巻には100冊に及ぶ大部なものも数多い。赤本、青本、黄表紙などの呼び名は表紙の色によるもので、合巻はそれらが長編化し、数冊が合綴されるようになったがための呼び名であったが、またそれらはそれぞれに独自の内容的特徴をもっていたので、今日ではそれらの文芸のもつ特質をもその名でよんでいる。

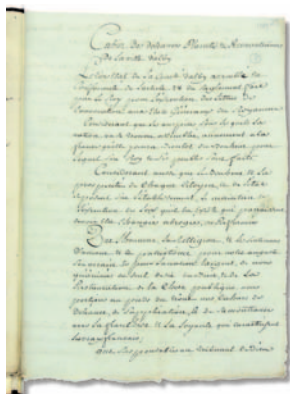
（ジャパナレッジ「デジタル大辞泉」より）

## フランス革命 見どころと主な展示品

### ミシェル・ベルンシュタイン文庫

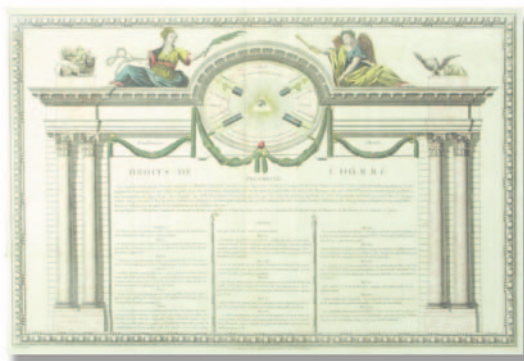
ヨーロッパ近代への扉を開いたとされるフランス革命。専修大学図書館はフランス革命期の原史料の一大コレクション「ミシェル・ベルンシュタイン文庫」(4万7千点の原史料と900誌9万5千号の逐次刊行物)を所蔵しています。もう一つのモダン、フランス革命のコーナーでは、ミシェル・ベルンシュタイン文庫史料から約130点を展示します。

代表的なものとして、三部会への「陳情書」や「人権宣言」、「ルイ16世の裁判記録」と「遺言書」、「マリー=アントワネットに対する死刑判決書」などが顔を揃えます。



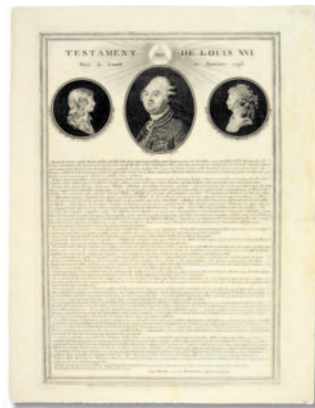
アルビ市下級選挙集会時の第三身分陳情書

陳情書は、全国三部会の開催にあたり、各身分が陳情や請願を取りまとめたもの。この時期における各身分の諸要求を知ることができる史料です。ベルンシュタイン文庫には、印刷史料と手稿と合わせて、250点以上の陳情書が確認されています。



人権宣言(ブヴェロ作、手彩色)

フランス革命初期の1789年8月26日に憲法制定国民議会で採択された「人および市民の権利宣言」は、人権の普遍性を確認し、近代憲法の要素を体系的に示した点で、近代人権宣言の典型と目されています。本学が所蔵するさまざまなデザインの「人権宣言」、およびその審議過程を示す史料を出品します。



ルイ16世の遺言書

1793年1月に処刑されたルイ16世は、前年12月25日付で、遺言書を作成しました。ベルンシュタイン文庫には3様のデザインの遺言書のほか、国王裁判をめぐる国民公会議員たちのパンフレットを数多く所蔵しています。これらの国王裁判関連史料を一挙公開します。

今回初出展のものとしてマラー、サン=ジュスト、ロバスピエールら革命期の志士30余名の「肖像画」とその著作、兵士たちが歌ったラ・マルセイエーズの楽譜、革命期の逐次刊行物(『人民の友』『ペール・デュシェーヌ』『憲法の擁護者』『カリカチュアの歴史』)などが会場を飾ります。



サン=ジュストの肖像画



ラ・マルセイエーズの楽譜

## 記念講演会

■日 時 11月21日(土)・22日(日)  
14:00~16:30

■会 場 東京芸術劇場 展示ギャラリー(5F)  
池袋駅西口 徒歩3分

### ■プログラム

#### 「江戸文化、戯作への誘い」 11月21日(土)

- 江戸後期の人々と書物・読書
- 川柳・狂歌に見る江戸っ子と江戸言葉
- 江戸戯作の世界—向井コレクションについて

<ギャラリートーク>  
「月百姿」について

<公演>  
江戸音曲への誘い—端唄・俗曲を中心に

青木美智男(日本近世史研究家、専修大学史編集主幹)

宇田 敏彦(近世文芸研究家)

板坂 則子(専修大学文学部教授)

井黒佳穂子(専修大学大学院博士後期課程)

柳家 小夏(音曲師、社団法人落語協会所属)

講演会協力 専修大学文学部 板坂ゼミナール

#### 「フランス革命像をベルンシュタイン文庫に求めて」 11月22日(日)

- 1789年の陳情書の世界
- マリー=アントワネットの最期

<ギャラリートーク>  
専修大学所蔵のフランス革命関連史料について

近江 吉明(専修大学文学部教授)

小井 高志(立教大学文学部教授)

山岸 拓郎(専修大学図書館)

### ■講師プロフィール(講演順)

#### 青木美智男(あおき みちお)

元専修大学文学部教授。専門は日本近世史。日本近世社会史・文化史を研究テーマとする。主な著作に『深読み浮世風呂』(小学館 2003)、『日本文化の原型—近世庶民文化史—』(『日本の歴史』別巻 小学館 2009)など。

#### 宇田 敏彦(うだ としひこ)

元戸板女子短大教授。専門は日本近世(江戸期)文学。川柳、狂歌、黄表紙類を研究テーマとし、早くから文学情報処理技術を駆使し索引類を多数作成。主な著作に『万載狂歌集』(現代教養文庫1330・1331 社会思想社 1990)など。

#### 板坂 則子(いたさか のりこ)

専修大学文学部教授。専門は日本近世(江戸期)文学文化。馬琴の戯作類や読者論を研究テーマとする。主な著作に『草双紙の読者—表象としての読書する女性—』(『国語と国文学』2006年5月号)など。

#### 井黒佳穂子(いぐろ かほこ)

専修大学大学院文学研究科博士後期課程。専門は日本中世文学。奈良絵本、絵巻、浮世絵を研究テーマとする。主な論文に『古今著聞集』に見る福天神の諸相』(『説話文学研究』39号 2004)など。

#### 柳家 小夏(やなぎや こなつ)

音曲師。社団法人落語協会所属音曲師・邦楽演奏家の柳家紫文に師事し、伝統音楽と演芸を組み合わせた音曲ユニット「東京ガールズ」の一員として、江戸音曲の演奏活動を行う他、ソロでも活躍中。

#### 近江 吉明(おうみ よしあき)

専修大学文学部教授。専門はフランス民衆蜂起論、フランス革命史。主な著作に『黒死病の時代のジャクリー』(未来社 2001)、『フランス革命とナポレオン』(共著 未来社 1998)、『世界史史料』第5巻(共著 岩波書店 2007)など。

#### 小井 高志(こい たかし)

立教大学文学部教授。専門はフランス史。フランス革命史を主要研究テーマとする。主な著作にA. ソブール『フランス革命と民衆』(共訳 新評論 1983)、『リヨンのフランス革命—自由か平等か—』(立教大学出版会 2006)など。

#### 山岸 拓郎(やまぎし たくろう)

専修大学図書館勤務。主な論文に「フランス革命期の公教育案」(『専修大学社会知性開発研究センター／歴史学研究センター年報 フランス革命と日本・アジアの近代化』第5号 2008)など。

### 講演会申込方法

※要事前申し込み、無料、両日とも先着80名まで  
聴講希望日、氏名(ふりがな)、住所、電話番号を記載し、①~③のいずれかの方法でお申し込みください。

①図書館ホームページ特設サイト <http://www.two-modern.com>

②葉書 〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1  
専修大学図書館 特別展講演会係宛

③FAX 044-911-0538 専修大学図書館 特別展講演会係宛

# 図書館インフォメーション

## >>>図書館カレンダー

11月							12月							1月							2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5						1	2		1	2	3	4	5	6
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
29	30						27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	28						

3月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

開館時間：無印 本館・生田分館 月～金 9：00～21：00 土 9：00～19：00  
 神田分館・分室 月～土 9：00～22：00  
 ◆印 本館・生田分館 月～金 9：00～17：00 土 9：00～12：00  
 神田分館 月～土 9：00～20：00  
 神田7号館分室 月～金 9：00～19：30 土 9：00～14：30  
 休日開館：○印 本館・神田分館 10：00～17：00 (生田分館・神田7号館分室休館)  
 休館日：全館休館日

**休日開館します。**  
 12月6日(日)、13日(日)、20日(日)、23日(水)、  
 24日(木)、25日(金)  
 1月5日(火)、6日(水)、10日(日)、11日(月)

\*開館時間の変更および臨時の開館日・休館日は、その都度ホームページや掲示で案内します。  
 \*法科大学院分館の開館情報は「専修大学図書館カレンダー(法科大学院分館)」をご覧ください。

## >>>お知らせ

### ■教員推薦図書の貸出停止

学部後期試験にともない学部学生対象教員推薦図書(生田分館・神田分館)の貸出を停止します。館内で利用してください。

停止期間：平成21年12月1日(火)～平成22年1月30日(土)

### ■冬期・春期特別貸出

	冬期	春期
取扱期間	平成21年12月2日(水)～12月22日(火)	平成22年1月22日(金)～3月17日(水)
貸出対象者	学部学生 聴講生、科目等履修生を <b>含む</b>	学部学生 聴講生、科目等履修生を <b>除く</b>
冊数	10冊まで(通常の貸出冊数と同じ)	
返却期限日	平成22年1月12日(火)	平成22年4月7日(水)

### ■卒業・大学院修了年次生の皆さんへ

卒業・大学院修了年次生の返却期限日は次のとおりです。  
 返却期限日：平成22年3月3日(水)  
 図書館から借りている本を返却し忘れていないか、確認をお願いします。返却は、郵送でも受け付けます。紛失、問い合わせ等はカウンターまで。  
**卒業後も図書館を利用できます。**  
 年間利用を希望する場合は、図書館利用カードを発行しますので、生田または神田のカウンターで手続きをしてください。館外貸出は5冊、20日間まで。手続き時には本人確認できるもの(運転免許証など)をお持ちください。

### ■神奈川県内の大学図書館が利用できます!

これまで教員と大学院学生に限定して発行していた「神奈川県内大学図書館共通閲覧証」を、学部学生のみなさんにも発行できるようになりました。この閲覧証があれば、県下の主な大学図書館を利用できます(閲覧、複写利用のみ。貸出はできません)。発行手続きや利用できる大学図書館名など、詳しくは本館レファレンス・カウンターへお尋ねください。  
 なお、共通閲覧証は生田・神田の学生とともに、本館で発行いたします。

### ■図書館講習会

#### 生田キャンパス

本館	図書館情報検索講習会 第2回 "卒業論文レポートのための資料の集め方"	11月9日(月)～13日(金) ①13:30～14:30 ②15:00～16:00
----	--	---

#### 神田キャンパス

神田分館	図書館入門ツアー	年間随時受付
	知って得する 図書館情報検索講習会～後期試験・卒論対策編～	10月1日(木)～11月30日(月) *10月30日(金)、11月3日(火)、日曜除く 平日①12:20～12:50 ②19:30～20:00 土曜①15:00～15:30 ②18:00～18:30

\*詳細については、開催館のカウンターに問い合わせてください。ホームページ、掲示でも案内いたします。

### ブックエンド

#### 「Jブンガク」

月曜～木曜の朝6時25分から5分間、楽しみにしている番組がある。NHK教育テレビの「Jブンガク」である。英語の語学番組かと思って見てみたら、期待以上に面白い番組であった。(この番組のコンセプトは「海外からの視点で日本文学をひもといてみたら・・・」、との事。NHK番組ホームページより抜粋)  
 ロバート・キャンベル氏(東京大学大学院総合文化研究科教授)が毎日違う日本の文学作品を紹介する。ロバート氏の絶妙な紹介を聞くと何故か本を読んでみたくなる。図書館のOPACで紹介していた本を検索してみる。たいがいの本が図書館においてある。  
 日本文学を読み始めて、あらためて日本文学の奥深さを感じている。

生田図書課 高野 麻子

図書館では、利用者の個人情報を本人の同意なく第三者に提供することはありません。

### 専修大学図書館だより 第69号

発行日：2009年10月1日  
 編集・発行：専修大学図書館(館長 大庭 健)  
 〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1  
 Tel.044-911-1274 URL : <http://www.senshu-u.ac.jp/libif/lib/index.html>